<table>
<tr><td>研究代表者氏名</td><td colspan="3">丸山　茂徳</td><td colspan="2">研究組織</td><td>４人</td></tr>
<tr><td>所属機関・部局・職</td><td colspan="3">東京工業大学・大学院理工学研究科・教授</td><td colspan="2">所属機関所在地</td><td>東京都<br>目黒区</td></tr>
<tr><td>研究課題名</td><td colspan="6">全地球史解読 Part Ⅱ</td></tr>
<tr><td>研究の概要等</td><td colspan="6">科研費重点領域研究「全地球史解読研究」（1995-1998 年）によって得られた大局的地球変動史から、①カタストロフ的固体地球大変動、②表層環境変動の激変、及び、③生命の急激な進化の三者が時期的に密接に関係していることが明らかになった。本研究目標は、これら三者の因果関係を作りだしたメカニズムを解明することにある。研究計画としては、地球史を大きく変えた時刻に焦点を合わせ、精密な野外地質調査と学際的研究手法による試料の室内分析を進める。ここ数年多様な世界最古微化石の発見が相次いでおり、分析から、その棲息環境（水深、pH,　二酸化炭素、酸素、メタン分圧等）の定量的復元、また、27 億年前に起きた酸素濃度の急上昇に伴う生物相の変化、P/T 境界鍵層火山灰の地球的分布の解明などが期待される。</td></tr>
<tr><td>当該研究課題と関連の深い論文・著書（研究代表者のみ）</td><td colspan="6">①丸山茂徳・磯崎行雄、1998、生命と地球の歴史、岩波新書<br>② Maruyama, S., Isozaki, Y., Nakashima, S. and Windley, B.F. (2001), History of the Earth and Life, In ‘Geochemistry and the origin of Life’, Eds. by S. Nakashima et al., Universal Academic Press, Inc. Tokyo, Japan, 285-328.</td></tr>
<tr><td>研究期間</td><td colspan="2">平成１５年度～１９年度（５年間）</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">研究経費<br>（１６年度以降は内約額）</td><td>平成１５年度</td><td>平成１６年度</td><td>平成１７年度</td><td>平成１８年度</td><td>平成１９年度</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>千円<br>16,000</td><td>千円<br>17,000</td><td>千円<br>17,000</td><td>千円<br>17,000</td><td>千円<br>17,000</td><td>千円<br>84,000</td></tr>
<tr><td colspan="3">ホームページアドレス</td><td colspan="4">http://www.geo.titech.ac.jp/lab/maruyama/maruyamalab.html</td></tr>
</table>